

「研修内容の体系」の階層の考え方（案）

- 1～3 階層の項目はコース設定を念頭に体系化
- 4 階層の項目はコースの「単元」を念頭に設定
 - 1 コースは、有明の丘研修の2日間で教えることを前提に、全体討論を含めて10単元で構成
 - 第3階層のスライドの内容と、有明の丘第2期の各コースの単元構成や学習目標を参考に、1単元75分で教える分量と内容（活動の対象者や関連する業務）になるよう設定
 - コースに必ず1つ以上の演習が入るように、有明の丘研修第2期を参考にして設定
 - 単元名は、有明の丘研修第2期を参考に体系表の考え方と整合するよう修正
- 5 階層の項目は単元の「章」を念頭に、「学習目標」と併せて設定
 - 有明の丘研修（第2期）の単元ごとに、研修資料から「章」にあたる項目を具体的に記載
 - 構造化表の学習項目と比較して、研修資料にはないが構造化表にある項目を追加
 - 学習目標の設定はコース間で重複しないように設定
- 6階層の項目は「学習内容」であり、コーディネーターが「学習目標」が達成できるように適宜項目を追加設定
 - 第6階層は、第5階層ごとに、研修資料から「章」を説明している項目を記載
 - 研修資料がない項目については、構造化表を参考に記載
 - 学習内容は単元間での重複を許容

※コーディネーターは、「学習目標」を踏まえて、「単元の設定と講師の選定」を行う。